

加賀電子株式会社
2023年3月期（第55期） 第1四半期 決算
主な質問と回答
決算発表日： 2022年8月4日（木）

<ご留意事項>

「主な質問と回答」は、当社の判断でポイントのみ簡潔にまとめたものであることをご了承ください。

また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご了承ください。

質問：第1四半期は好調だったがその要因はなにか。

回答：電子部品販売においてスポット販売が好調だったことに加え、通常の電子部品販売についても販売数量が想定よりも増加しました。加えて加賀 FEI の業績もスポット販売の増加に伴い好調に推移いたしました。

質問：スポット販売はいつまで続くか

回答：社車載向け、産機向けを中心に7、8月もスポット販売は継続しておりますが、今後は減少していくと考えております。なお、当社では、スポット販売に際してはそれと併行して代替提案をしており、“スポット”に終わらず継続した取引につなげられるようにしております。

質問：上海ロックダウンの影響は？

回答：蘇州に工場がありますが、中国内のグループ会社間で仕入れ・販売ルートを融通し、操業を止めずに影響を最小限に納めました。なお、現状ではロックダウンは発生しておりません。

当該の中国子会社は12月決算であるため、上海ロックダウンに関する影響は第2四半期に出てくると考えております。

質問：配当は修正しないのか

回答：配当予想は修正しておりません。第2四半期決算を見て検討させていただく予定です。

質問：第2四半期の見通しはどうか

回答：今回は第1四半期決算での上振れ分のみ勘案して、上方修正いたしました。

新型コロナウイルス、ウクライナ情勢、為替変動など先行き予断を許さず、また、下期にはスポット販売は減少するとみていることなどから、第2四半期以降の見通しは期初に立てた計画から変更しておりません。

質問：在庫が増加している要因はなにか。

回答：部品在庫の増加とEMS在庫の増加が主な要因です。部品納期の長期化対策や、EMSビジネスにおいてお客様からの部品支給が滞ることにより半完成品が増加したことによるものです。なお、在庫高については、営業部門や工場に

おける管理のみでなく、管理部門においても在庫高管理を徹底しております。また、当社の在庫については基本的にお客様からの注文に紐づくものであり、当社独自の判断で保有するものではありません。

質問：中期経営計画の見直しはしないのか

回答：売上高・営業利益・ROE などの中期経営計画目標について、上期業績を勘案することとしており、見直し項目や時期、目標数値については検討中です。

以上